

衣桁

長野県木曾地方で切り出された檜を丁寧に乾燥させ、白木のうつくしさをそのままに、繊細な面取りをほどこし、ひとつひとつ組み上げました。可動部には金属ではなく紐で留める「紐蝶番」を使用。自在な開閉が可能なため、お部屋の形や大きさを問わず自由にお使いいただけます。紐蝶番に使用した真田紐は、組紐とは異なり縦糸と横糸で織り上げるため伸びにくく、さらに袋織りという技法を用いることで、より丈夫に作られています。特に木綿製は摩擦に強く、紐蝶番に適しています。日々の暮らしにご活用いただけるよう、ハンガーや衣類を直にも掛けられる形に仕立てました。さまざまな着丈に対応する高さ、置く場所を限定しない幅、安定感のバランスを工夫しています。玄関や室内のちょっとしたスペース、衣類を脱着する場所などでお役立てください。使用頻度の高い衣類を手軽に掛けられ、また、花粉やたばこ、食事のにおいなどが衣類に付いて、すぐにはクローゼットに持ち込みたくないときにも便利です。軽量で移動も簡単、見せてもうつくしく、しまう時もびたりと折れたため邪魔になりません。衣桁（いこう）を数える単位には、ものを載せたり掛けたりする台や棹、もしくは、掛けるや、掛けわたすという意味の「架」が使われます。一家に一架（いっか）重宝します。末長くご愛用ください。

◎各種サイズ、使用方法

・お手持ちの衣類の丈や掛けたい衣類の量に合わせてサイズをお選びいただけます。

衣桁 長丈／広幅 高さ一七〇^{センチ} 幅二一〇 厚さ三・九

（膝下まであるロングコートなど丈の長い衣類も掛けられ、幅もゆったりしています。）

衣桁 長丈／並幅 高さ一七〇^{センチ} 幅九〇 厚さ三・九

（高さは長丈／広幅と同様、幅をやや細くすることで狭い場所にもおさまりやすいサイズです。）

衣桁 中丈／広幅 高さ一四五^{センチ} 幅二一〇 厚さ三・九

（幅は長丈／広幅と同様、背丈が低いためーフコートなど丈が短めの衣類に適しています。）

衣桁 中丈／並幅 高さ一四五^{センチ} 幅九〇 厚さ三・九

（高さ、幅ともにコンパクトな作りで置く場所を選びません。）

◎ご使用に際して

・平らで安定した場所に置いてください。不安定な設置場所や掛け方が原因で倒れることがありますのでご注意ください。

・ハンガーを掛ける部分は、木材の角を落とし傷や痕が付きにくい工夫をしていますが、柔らかい材質のため重いものを掛けたり長年使用するうち傷や痕が付くことがあります。

・紐蝶番に負担がかかるため、衣類を掛けたまま移動しないでください。

・直射日光の当たる場所、ベランダなどの屋外、暖房器具のそばでの使用は避けてください。無垢の木材の特性上、過度な乾燥により反りが生じることがあります。

・直接水に触れることや直接水に触れる場所に置くことは避けてください。濡れた場合は速やかに拭き取ってください。

・火の近くには置かないでください。過度な加熱による割れや傷みの原因となる他、火災等の事故につながる恐れがあります。

◎木ヤニについて

木肌に油染みのようなものが出る場合がありますが、これは檜に含まれる天然の樹脂である木ヤニが、気候や保管の環境、または木の個性によって表面にじみ出たものです。そのままご使用いただけますが、ベトつきが気になる場合は消毒用アルコール（エタノール）で拭き取ってください。

◎お手入れについて

木肌は無塗装、紐は木綿の純白を使用しています。お手入れは乾いた布で拭く程度です。経年変化をお楽しみいただくことをおすすめします。

◎製品に関するご意見やご質問、各種修理のご相談など、左記東屋まで、お気軽にお問い合わせください。

素 材 木曾檜・木綿

製 造 木工 小栗正彦 ㊦

木工 筒井木工所 ㊧

木工 山 一 ㊨

真田紐 織元すみや ㊩

デザイン 猿山修 ㊪

制 作 東 屋 ㊫

〒一五〇〇〇三三

東京都渋谷区猿楽町五十四 #二〇六

〇三ー六四三三ー七九八二

contact@azmaya.co.jp

www.azmaya.co.jp